

天吊金具

PMT-L31 (低天井用)

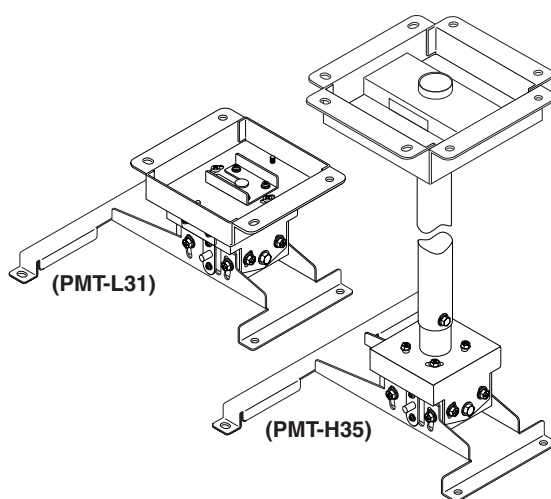
PMT-H35 (高天井用)

設置調整説明書

ご使用の前に必ずお読みください。

ヤマハ天吊金具PMT-L31/PMT-H35をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくために、ご使用前にこの設置調整説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。

本製品を使用してプロジェクターの取り付けを行う際は専門の工事業者または販売店にご依頼ください。お客様による工事は、絶対にしないでください。



目次

安全上のご注意	2
同梱部品一覧	4
各部の名称	5
各部の寸法	7
スクリーンサイズと設置距離	8
取り付け例	10
プロジェクターの取り付けかた	11
投影角度調整のしかた	14
仕様	裏表紙
ヤマハホットラインサービスネットワーク	裏表紙

安全上のご注意(安全に正しくお使いいただくために)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

絵表示の例



気をつけなければならない内容を表しています。



してはいけない行為を表しています。



必ずしなければならない行為を表しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



必ず行う

本製品を使用してプロジェクターを設置する際は、必ず本書に基づいて行う。

誤った設置や不十分な取り付けはプロジェクターが落下してけがの原因となります。



必ず行う

取り付ける際はプロジェクターおよび天吊金具などの総合自重に長期間十分耐え、また地震にも十分耐える施工を行う。

不十分な取り付けを行なった場合、プロジェクターが落下してけがの原因となります。



必ず行う

安全確保のため、ボルトおよびネジ類は確実に締めつける。

プロジェクターが落下してけがの原因となります。



必ず行う

取り付けに使う部品は必ず同梱された部品や指定された部品(市販品)を使用する。

プロジェクターが落下してけがの原因となります。



禁止

本製品を改造して使用しない。

プロジェクターが落下してけがの原因となります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。



禁止

こわれた部品を使用しない。

プロジェクターが落下してけがの原因となります。
万一、部品がこわれた場合は販売店にご相談ください。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



必ず行う

設置するときは周囲から十分な間隔をあける。

十分な間隔をあけないとプロジェクター内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。



必ず行う

ランプカートリッジを交換するときは必ず天井固定金具からプロジェクター(取り付けアダプターがついた状態)を取り外して行う。

そのまま交換すると天吊金具やプロジェクターが落下してけがをする原因となることがあります。



禁止

プロジェクターおよび天吊金具にぶら下からない。

プロジェクターや天吊金具が落下してけがをする原因となることがあります。



禁止

冷暖房の吐き出し口や振動の多い場所に設置しない。

プロジェクターに悪影響が生じて、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。

プロジェクター内部にほこりが堆積することによりショートして、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

直射日光のあたる場所や温度が異常に高くなるまたは低くなる場所(冷暖房機のそばなど)に設置しない。

変形したり、外装が変色する原因となることがあります。



禁止

薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。

外装が傷んだりすることがあります。



禁止

お客様による天吊工事は一切行わないでください。(工事は技術と経験が必要です。専門の工事業者または販売店にご依頼ください。)

不十分な取り付けは天吊金具やプロジェクターが落下してけがをする原因となることがあります。



注意

取り付け後は、定期的に安全点検をする。

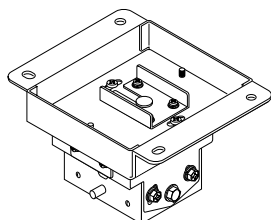
長期間使用すると経年変化や振動等により、ネジがゆるんだり、取り付け強度が低下することがあります。

同梱部品一覧

同梱部品をご確認ください。

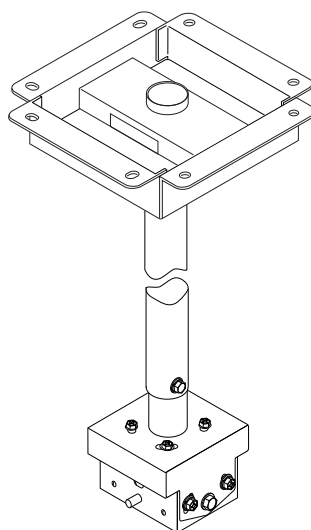
PMT-L31

天井固定金具 × 1個



PMT-H35

天井固定金具 × 1個

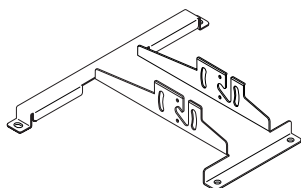


調整ポール固定ネジ(M5) × 4本

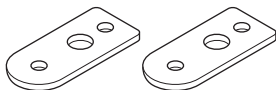


共通部品(両方に一組ずつ同梱されています。)

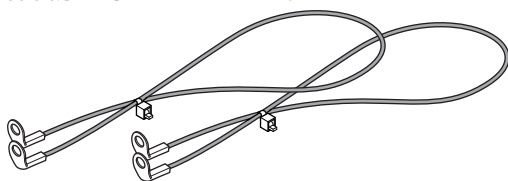
プロジェクター取り付けアダプター × 1個



安全金具 × 2個



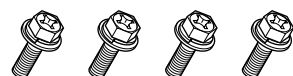
落下防止用ワイヤー × 2本



プロジェクター取り付けネジ(M6、ナベ) × 4本



上下角度調節ネジ(M6、六角頭) × 4本



安全金具取り付けネジ(M4、ナベ) × 4本



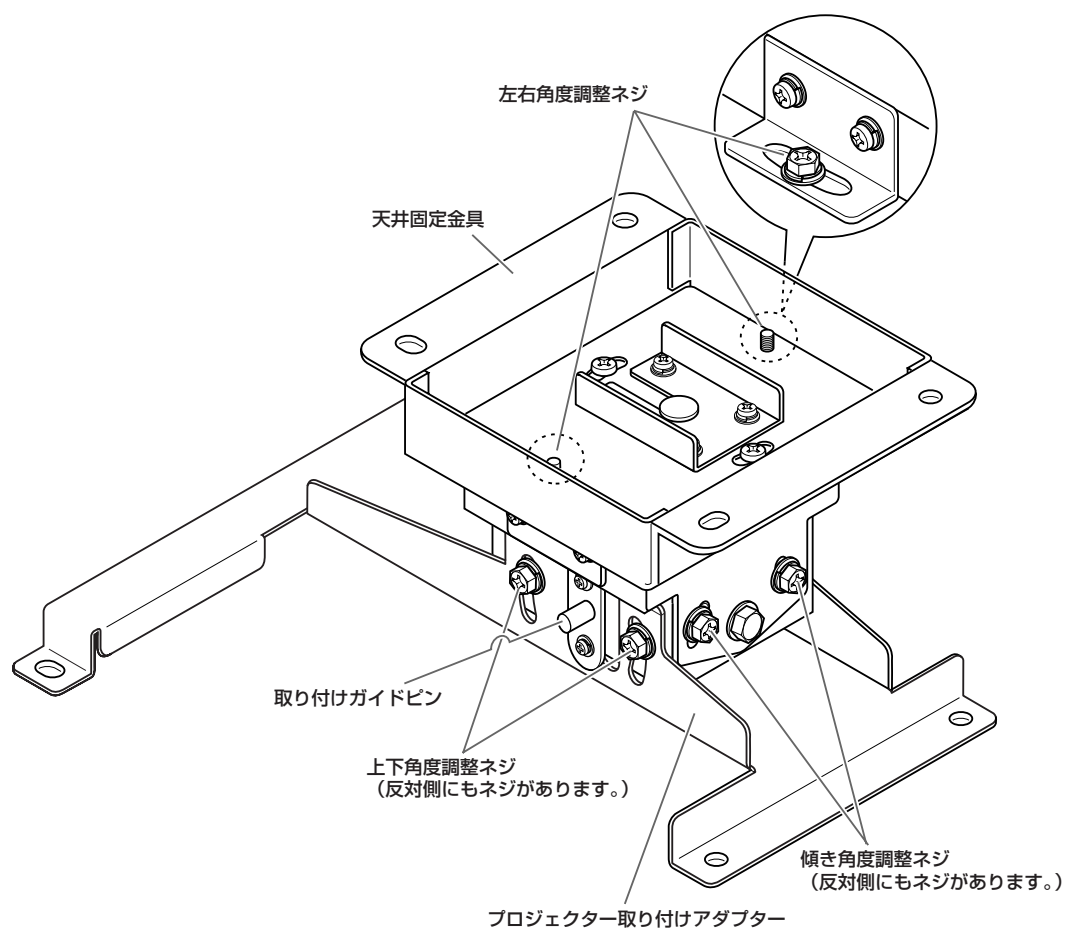
落下防止用ワイヤー取り付けネジ(M4、ナベ) × 4本

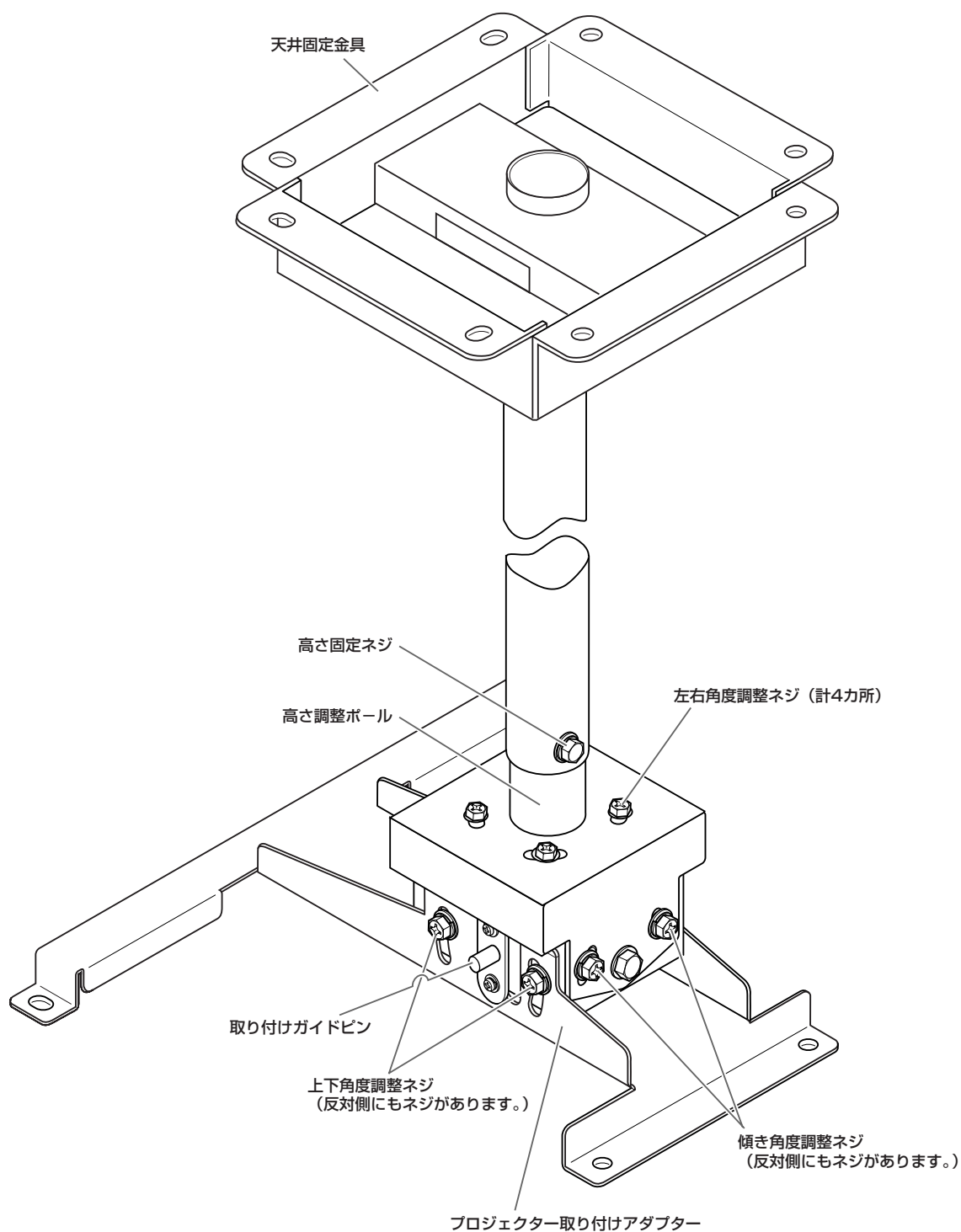


設置調整説明書 × 1冊

各部の名称

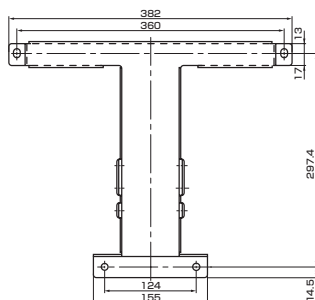
PMT-L31





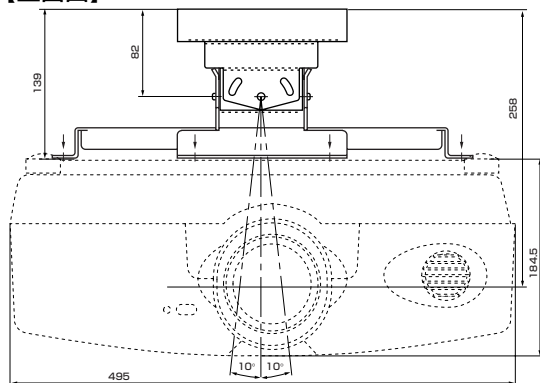
各部の寸法

プロジェクター取り付けアダプター



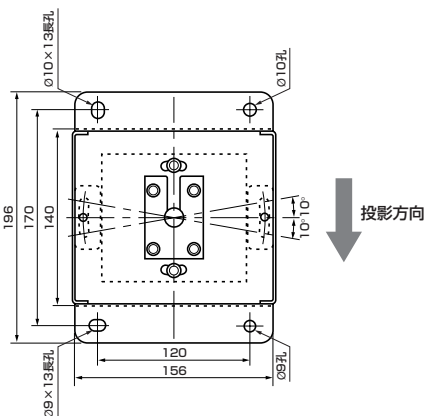
PMT-L31

【正面図】



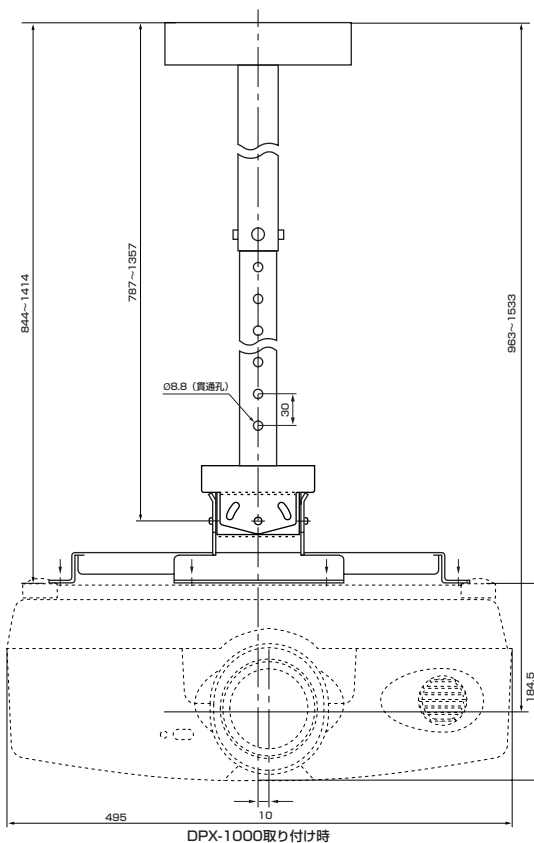
DPX-1000取り付け時

【上面図】



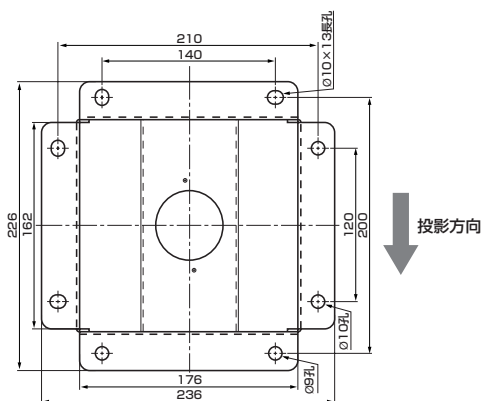
PMT-H35

【正面図】



DPX-1000取り付け時

【上面図】



単位:mm

スクリーンサイズと設置距離

- 投影距離とスクリーンサイズの関係は以下のとおりです。取り付け位置の目安にしてください。
- DPX-1000にはV.POS(垂直位置)調整機能があります。取扱説明書を参照の上、投影する映像の位置をスクリーンと合わせてください。

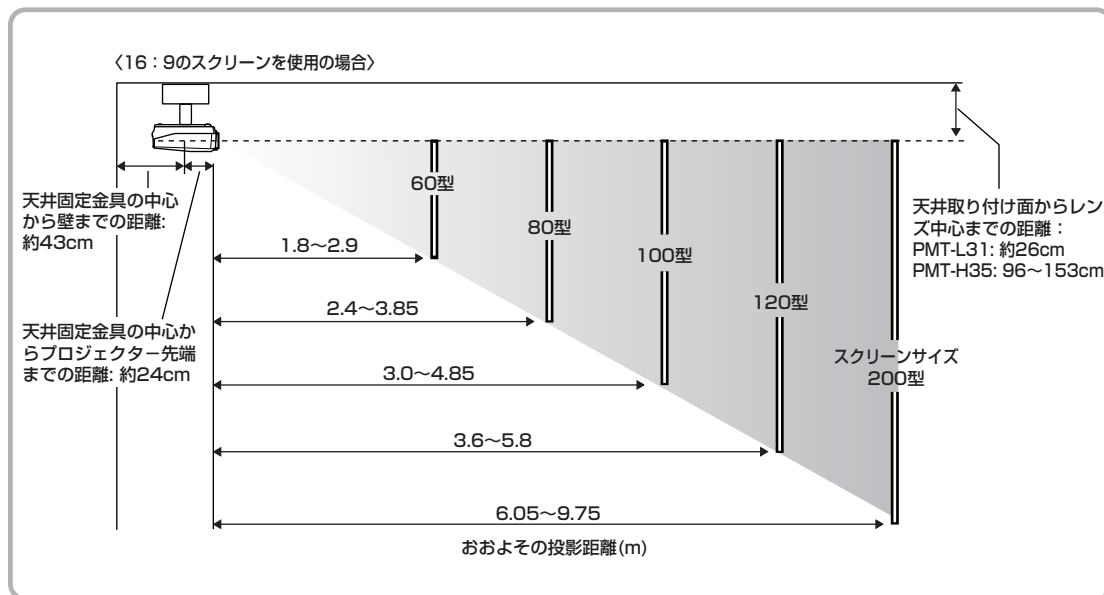
16:9 スクリーンを使用の場合

スクリーンサイズ(inch)	およその投写距離(m)
60	1.8~2.9
70	2.1~3.35
80	2.4~3.85
90	2.7~4.35
100	3.0~4.85
110	3.3~5.35
120	3.6~5.8
150	4.55~7.3
200	6.05~9.75

4:3 スクリーンを使用の場合

スクリーンサイズ(inch)	およその投写距離(m)
60	1.65~2.65
80	2.2~3.5
100	2.75~4.4
120	3.3~5.3
200	5.5~8.8

※距離や寸法の値は設置の目安にしてください。投影条件により、変わる場合があります。



メモ

- 投影距離はプロジェクターレンズ表面からスクリーン表面までの水平距離です。
- 天吊金具は上下に最大±15°の範囲で角度調整ができますが、角度を大きくとりすぎると、映像が多少歪みますので、スクリーンの角度もあわせて調整することをおすすめします。

PMT-H35の高さ調整

PMT-H35の高さ調整ポールには3cm間隔で穴があいており、高さを調節できます。出荷状態では、最短になっていますので、下記の『調整手順』に従って、適切な高さに調整してください。
高さについては、8ページ『スクリーンサイズと設置距離』を参照してください。

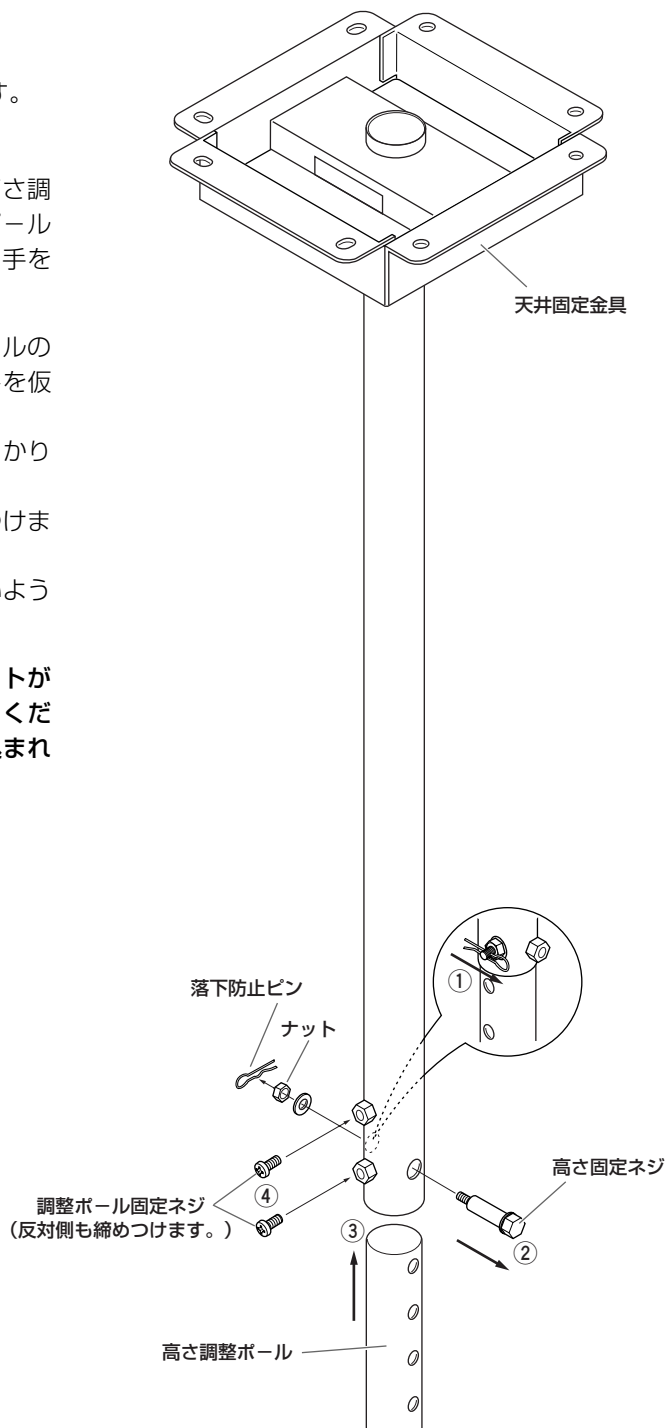
【調整手順】

- ① 落下防止ピンを取り外します。
- ② ナットをゆるめて、高さ固定ネジを抜きます。

ご注意

- 高さ固定ネジを抜くと、天井固定金具と高さ調整ポールの固定がゆるみます。高さ調整ポールの落下を防ぐため、必ず高さ調整ポールに手を添えて作業を行ってください。
- ③ スクリーンの高さに合わせて高さ調整ポールの位置を決め、高さ固定ネジを差込み、ナットを仮締めします。
 - ④ 付属の調整ポール固定ネジ(M5)4本をしっかり締めつけます。
 - ⑤ 仮締めしておいたナットをしっかり締めつけます。
 - ⑥ ナットがゆるんで高さ固定ネジが抜けないように、落下防止ピンを必ず差し込みます。

高さ調整後、調整ポール固定ネジおよびナットがしっかり締めつけられていることを確認してください。あわせて、落下防止ピンが正しく差し込まれていることを確認してください。



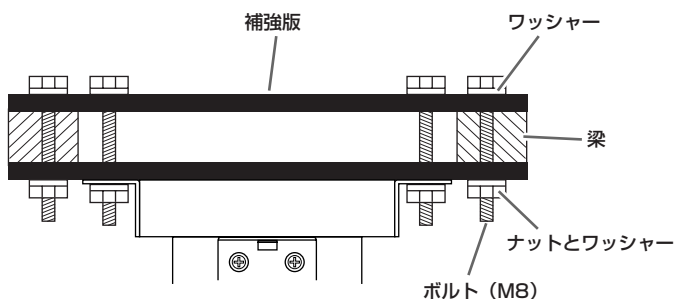
取り付け例

天井が木造の場合

- ① 補強板および天井面に寸法通りに穴をあけ、ボルトを通します。
- ② ボルトを締めて補強板と梁を固定します。

ご注意

- 補強板は、本体および天吊金具の荷重に十分耐えるものを使用してください。
- ボルトはM8(市販品)を使用してください。



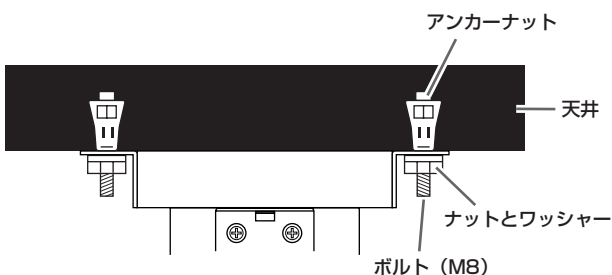
(補強板、ボルト、ナットおよびワッシャーは市販品をお求めください。)

天井がコンクリートの場合

- ① アンカーナットを天井へ打ち込みます。
- ② ボルトをアンカーナットへねじ込みます。

ご注意

- アンカーナットは、本体および天吊金具の荷重に十分耐えるものを使用してください。
- ボルトはM8(市販品)を使用してください。

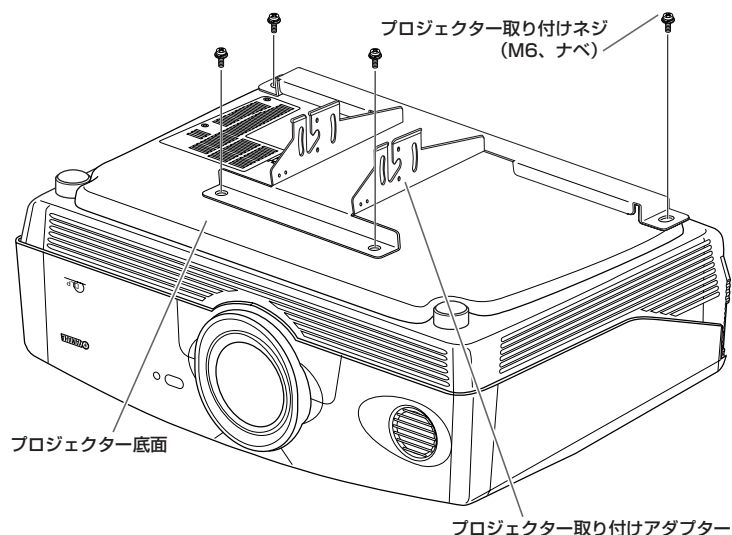


(アンカーナット、ボルト、ナットおよびワッシャーは市販品をお求めください。)

プロジェクターの取り付けかた

1 プロジェクター取り付けアダプターをプロジェクターに取り付ける

プロジェクター底面の穴に取り付けアダプターを合わせるように置き、付属のプロジェクター取り付けネジ(M6、ナベ)4本でしっかり締めつけます。

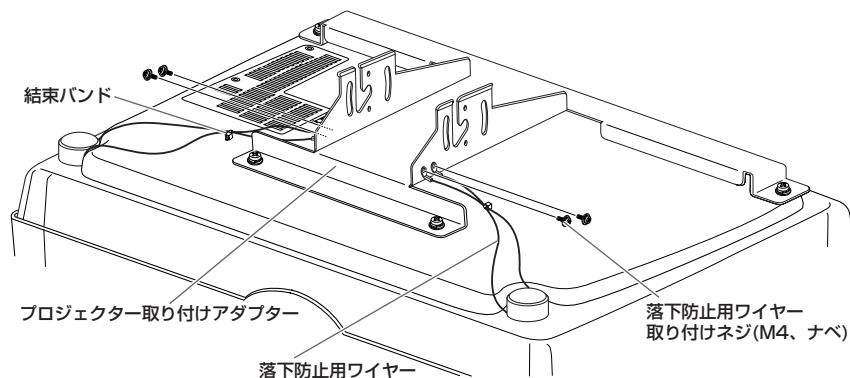


ご注意

- プロジェクター取り付けネジは締めつけすぎないようにしてください。締めつけすぎると取り付け部分が破損し、プロジェクターが落下する恐れがあります。

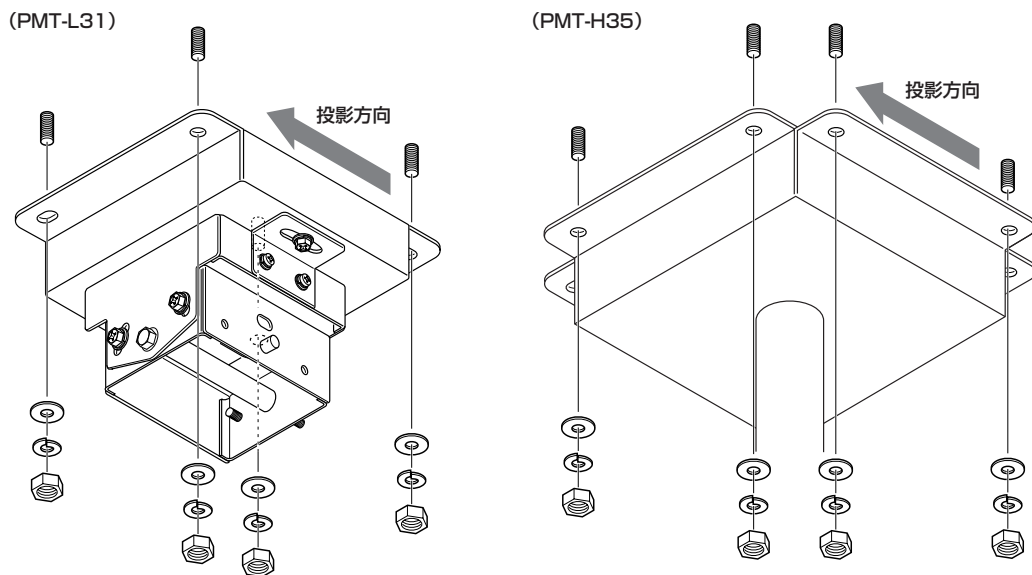
2 落下防止用ワイヤーを取り付ける

プロジェクター取り付けアダプターと落下防止用ワイヤーを付属の落下防止用ワイヤー取り付けネジ(M4、ナベ)4本でしっかり締めつけます(左右2カ所ずつ)。締めつけた後、ワイヤーの輪をプロジェクターのアジャスターにかけて、結束バンドをしばります。



3 天井固定金具を天井に取り付ける

はじめにナット4ヵ所(PMT-H35の場合は8ヵ所)を仮締めし、位置決めを行った後、しっかり締めつけます。



ご注意

- 天井固定金具の取り付けはM8ボルト(市販品)を使用してください。M8以外のボルトを使用するとプロジェクターが落下する恐れがあります。

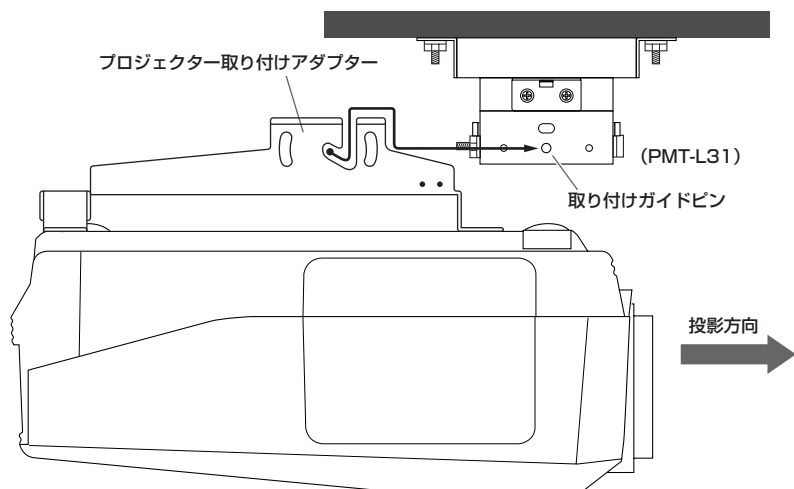
ご販売店様、工事店様へ

お客様の安全のため取り付け場所の強度には、プロジェクター本体および天吊金具等の荷重に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工をお願いいたします。

4 天井固定金具にプロジェクターをつり下げる

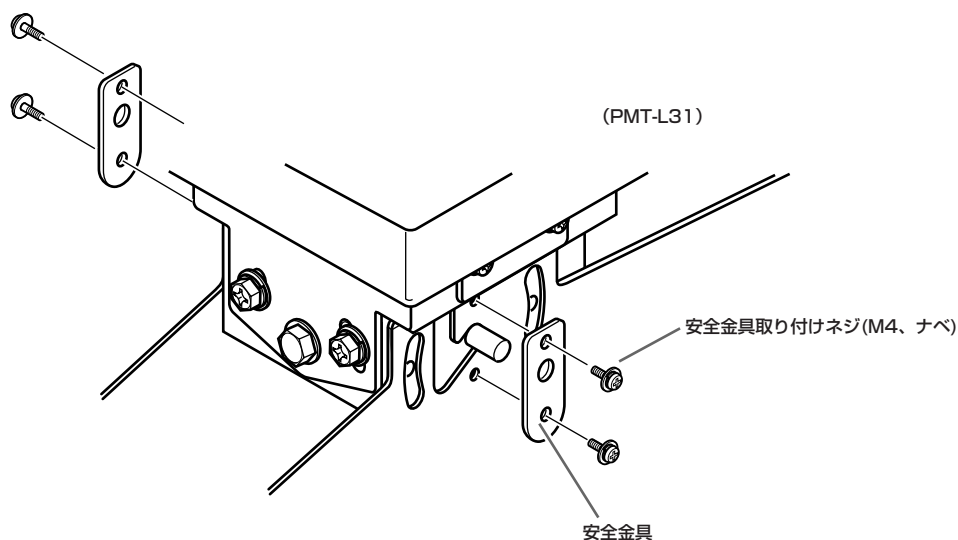
天井固定金具の取り付けガイドピンにプロジェクター取り付けアダプターの溝をスライドさせて奥まで入れます。

この状態は一時的につり下げるため、固定されていませんので、落下しないように注意してください。



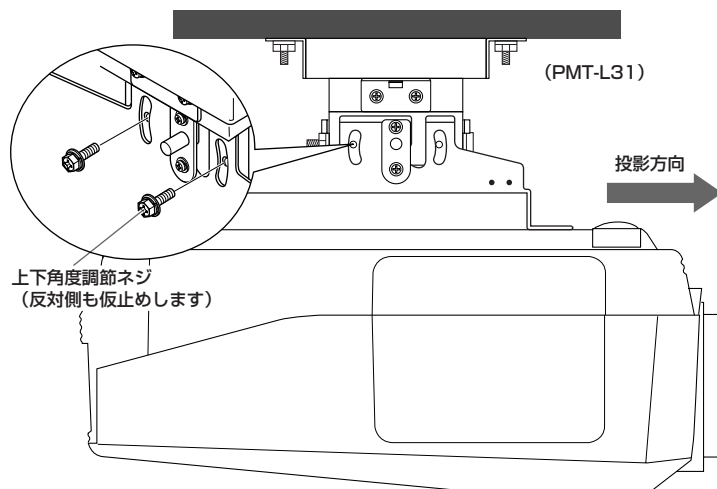
5 安全金具を取り付ける

天井固定金具の取り付けガイドピンと穴に安全金具を合わせるようにはめこみ、付属の安全金具取り付けネジ(M4、ナベ)4本でしっかり締めつけます(左右2カ所ずつ)。



6 プロジェクター取り付けアダプターを仮止めする

付属の上下角度調整ネジ(M6、六角頭)4本で仮止めします(左右2カ所ずつ)。



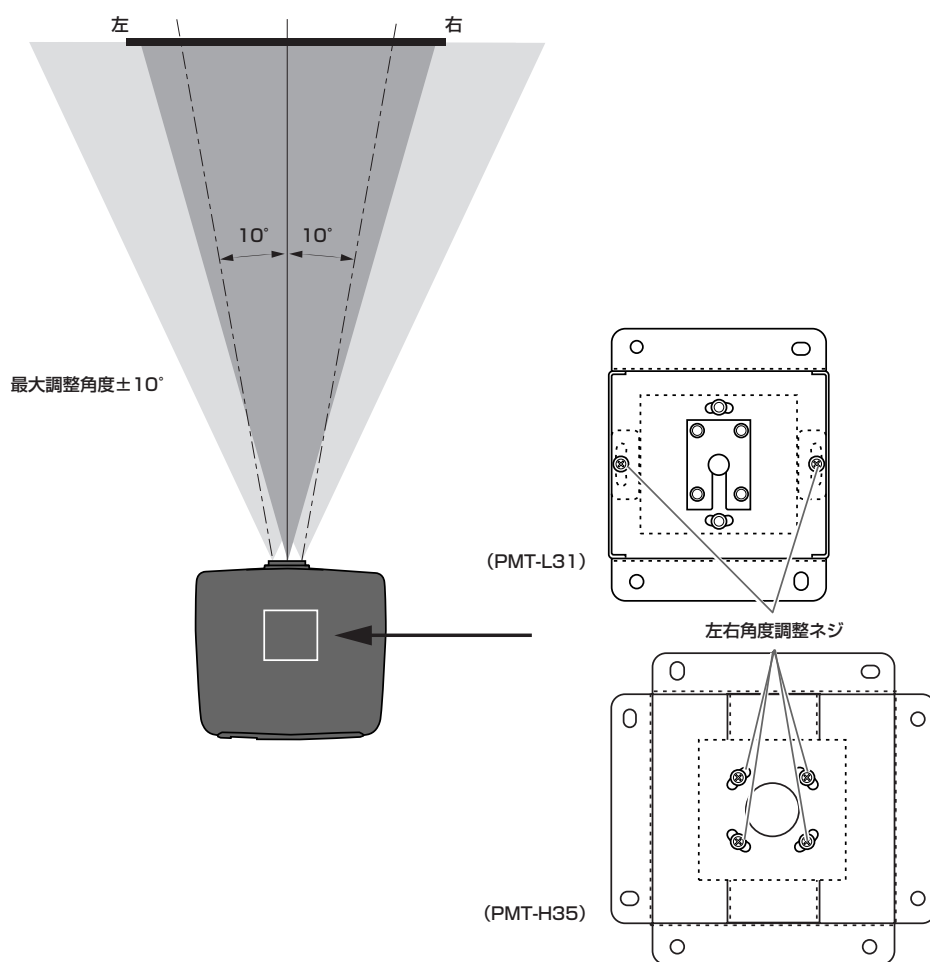
投影角度調整のしかた

調整の前に

- プロジェクターの取扱説明書に従い電源を入れ、映像を映してください。
- プロジェクターのメニューにて、設置状態の設定を行ってください。設定内容の詳細はプロジェクターの取扱説明書を参照してください。
- ズームで投影サイズを仮決めしてから、角度調整を行ってください。

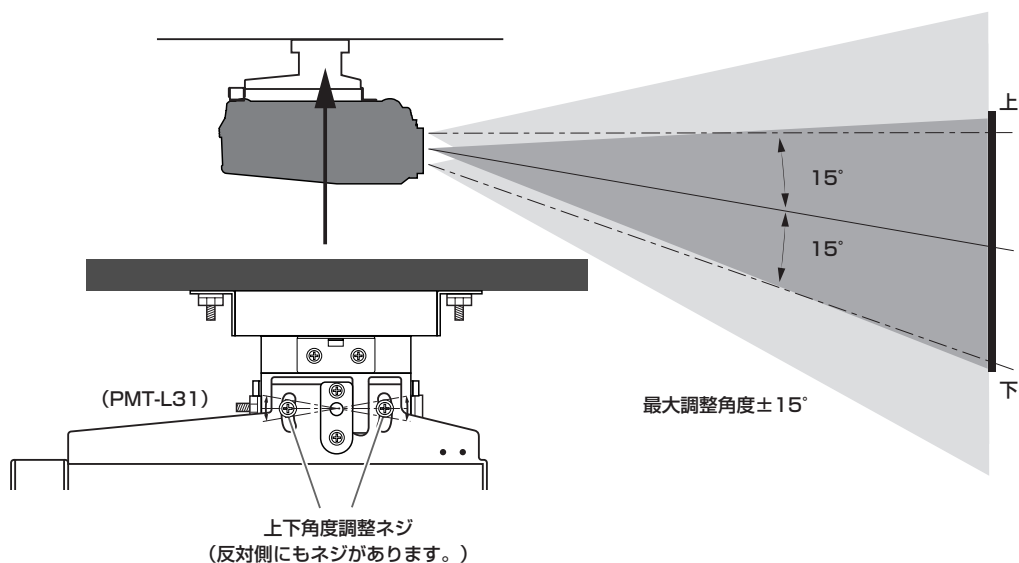
1 左右角度の調整をする

映像がスクリーンの左右中心に投影されるように合わせ、左右角度調整ネジ(2本または4本)をしっかり締めつけます。



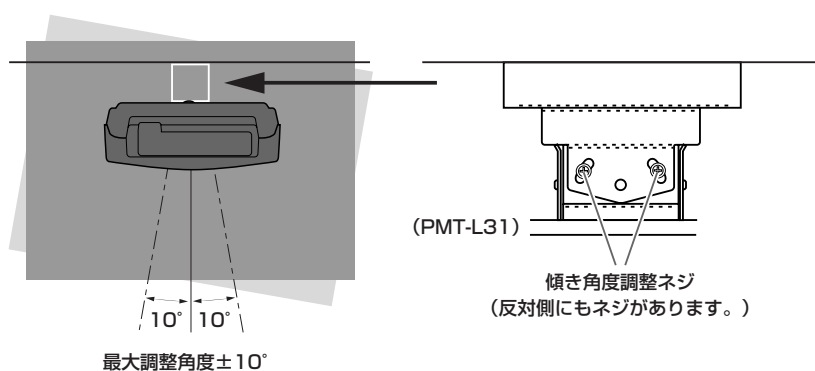
2 上下角度の調整をする

映像がスクリーンの上下中心に投影されるように合わせ、上下角度調整ネジ(4本)をしっかり締めつけます。



3 傾き角度の調整をする

映像がスクリーンに対して傾かないように合わせ、傾き角度調整ネジ(4本)をしっかり締めつけます。



調整が合わないときは1から調整しなおしてください。

調整後は、しっかり固定されていることを確認してください。

仕様

品 名		天吊金具	
型 番		PMT-L31	PMT-H35
調整幅	高 さ	139mm (固定)	844~1414mm (可変: 30 mm間隔)
	上下角度	±15°	±15°
	左右角度	±10°	±10°
	傾き角度	±10°	±10°
天井固定金具外形寸法 (幅 × 奥行き × 高さ)		160 × 196 × 94 mm	236 × 226 × 799~1369 mm (高さ可変: 30 mm可変)
アダプター外形寸法 (幅 × 奥行き × 高さ)		382 × 327.2 × 81.2 mm	
質 量		3.0 kg	6.2 kg

* 仕様、外観および記載内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。
サービスの依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

■ ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関する お問合せは

(ヤマハ電気音響製品サービス拠点)

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108

仙 台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236 - 0249

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1番1号
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
TEL (03) 5762 - 2121

浜 松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
TEL (053) 465 - 6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652 - 2230

大 阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL (06) 6877 - 5262

広 島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL (082) 874 - 3787

四 国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7
(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (087) 822 - 3045

九 州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

■ ヤマハAV製品の機能や取扱いに関するお問合せは

お客様ご相談センター

TEL (0570) 01 - 1808 (ナビダイヤル)

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。

TEL (053) 460 - 3409

FAX (053) 460 - 2777

住所 〒430-8650

静岡県浜松市中沢町 10-1

ご相談受付時間 10:00~12:00, 13:00~18:00

(日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきます
のであらかじめご了承ください。)



YAMAHA

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町 10-1

ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/audio/>

[Above information is applicable to customers who live in Japan only.]

ヤマハホットラインサービスネットワークは、日本国内居住のお客様専用です。]

YAMAHA ELECTRONICS CORPORATION, USA 6660 ORANGETHORPE AVE., BUENA PARK, CALIF. 90620, U.S.A.

YAMAHA CANADA MUSIC LTD. 135 MILNER AVE., SCARBOROUGH, ONTARIO M1S 3R1, CANADA

YAMAHA ELECTRONIK EUROPA G.m.b.H. SIEMENSSTR. 22-34, 25462 RELLINGEN BEI HAMBURG, FR. OF GERMANY

YAMAHA ELECTRONIQUE FRANCE S.A. RUE AMBROISE CROIZAT BP70 CROISSY-BEAUBOURG 77312 MARNE-LA-VALLEE CEDEX02, FRANCE

YAMAHA ELECTRONICS (UK) LTD. YAMAHA HOUSE, 200 RICKMANSWORTH ROAD WATFORD, HERTS WD1 7JS, ENGLAND

YAMAHA SCANDINAVIA A.B. J A WETTERGRENS GATA 1, BOX 30053, 400 43 VÄSTRA FRÖLUNDA, SWEDEN

YAMAHA MUSIC AUSTRALIA PTY. LTD. 17-33 MARKET ST., SOUTH MELBOURNE, 3205 VIC., AUSTRALIA

YAMAHA CORPORATION

Printed in Japan PMTL31/H35